

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2021年1月①号

新しい年が始まりました。

かつて経験したことがない新型コロナウイルス感染が広がる中で、何かと不安が多い年明けとなりました。

今、政治や行政がやるべきことは、新型コロナウイルス感染の広がりを止めるために、積極的にPCR検査を行い、無症状感染者を見つけ出し、広がらないように対策を取ること。そして、感染予防対策として、当面営業を自粛する事業者に対して、補償をしっかりと行い協力を求めることです。市民はすでに十分努力をしています。自助や共助を求める前に公的な支援を行うことが重要です。

引き続き市民の皆さんの声や願いが実現する政治をめざして頑張る決意です。

1月3日、浜田府会議員と一緒に北区内を宣伝カーで回り、ご挨拶と訴えをしました。写真は、雪の残る雲ヶ畑の地域です。



1月4日の京都市役所前の初出陣は、今年はビラをまかず、横断幕を持ち、ご挨拶をしました。京都市の職員さんも、市民の負担増大、リストラ計画を進めるのではなく、市民に喜ばれる仕事をしたいただろうと思います。いつも宣伝しています。右が玉本市議

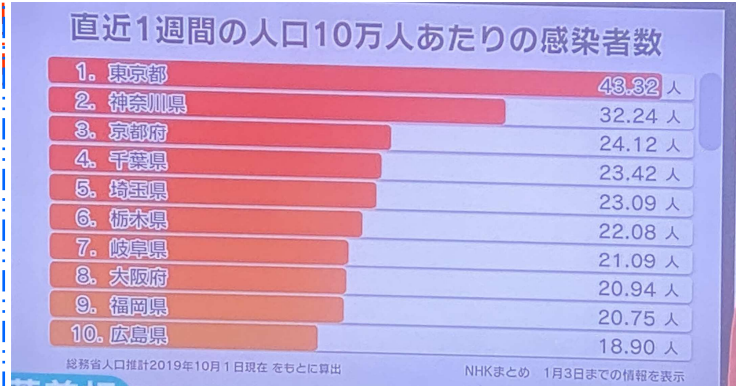
「敬老乗車証の改悪は断じて許さない！」

70歳⇒75歳に・・・？

談話を発表

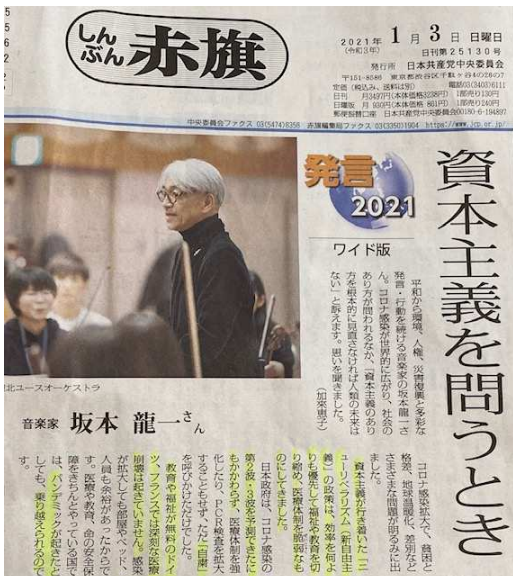
京都市は、独自施策の中でもとりわけ市民に喜ばれている『敬老乗車証の対象年齢』を現在70歳から75歳に引き上げる検討をしています。昨年12月23日付けの京都新聞に報道され、大問題になっています。京都市は「まだ決まっていない。来年度の予算化ができる状況にない」と答弁をしていますが、「やらない」とは言ってません。京都市会議員団は12月24日に「敬老乗車証の改悪は断じて許さない」と談話を発表しました。乗る毎に100円程度の料金を払う制度の方針が出されてから7年間以上、市民団体の皆さんの運動で阻止してきました。70歳を楽しみにしている市民の皆さんから、怒りの声が上がっています。交通費への支援は市民の暮らしを応援するという点において重要です。

つぶやき：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県に対して、7日より緊急事態宣言が出されることになりました。しかし、ニュースでこんなデータがありました。直近1週間の人口10万人あたりの感染者数で見ると、京都は東京、神奈川に次ぐ3番目に多いということ。緊急事態宣言が出される千葉や埼玉より多いのです。重症者を受け入れておられる京都府内の14の病院長さんが医療崩壊を招きかねないと医療機関が逼迫している状況を



告発し、声明を出されました。市長も政府も重く受けとめ、対策を強化すべきです。

NHKのまとめによる感染者数。上から3番目が京都



日本の場合、政治的な発言を控える方が多くある中で、ずばり今の自公政権に対する苦言と日本共産党への期待を語ってくださり、日本社会も変わってきていると実感。

選挙の時、WEBで自分の考えと近い政党はどこかというアンケートをやる時、必ず日本共産党となるわけですよ。96%くらいは、日本共産党の政策と一致するのです。法の解釈を数人の内閣でかえてしまうことが次々と行われていることが、もっと問題だと感じてます」などなど。

音楽家の坂本龍一さんが1月3日のしんぶん赤旗に登場。日本共産党への期待を語ってくださり、感動しました。資本主義が行き着いたニューリベリズム（新自由主義）の政策は、効率を何よりも優先して福祉や教育を切り縮め、医療体制を脆弱なものにしてきました」と批判。

坂本龍一さんからのエール

アンテナ+

